2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年８月６日

上場会社名　森下仁丹株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4524　ＵＲＬ　https://www.jintan.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）森下　雄司
問合せ先責任者　（役職名）取締役　執行役員　管理本部長　（氏名）吉田　秀章　ＴＥＬ　06-6761-1131

配当支払開始予定日　ー
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	3,476	4.0	417	115.0	436	108.5	324	99.1
2026年３月期第１四半期	3,343	△2.1	193	△38.7	209	△36.3	163	△33.4

（注）包括利益　2027年３月期第１四半期　257百万円（409.6%）　2026年３月期第１四半期　50百万円（△90.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	79.24	ー
2026年３月期第１四半期	39.87	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期第１四半期	18,620	12,967	69.6
2026年３月期	18,623	12,977	69.7

（参考）自己資本　2027年３月期第１四半期　12,967百万円　2026年３月期　12,977百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	ー	0.00	ー	65.00	65.00
2027年３月期	ー				
2027年３月期（予想）		0.00	ー	65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	6,300	△3.3	330	20.1	370	23.9	270	24.5	65.91
通期	12,400	△2.3	650	△6.1	700	△9.5	530	△15.7	129.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	4,150,000株	2026年３月期	4,150,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	51,275株	2026年３月期	51,255株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	4,098,730株	2026年３月期１Ｑ	4,090,945株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一部に弱い動きが見られるものの個人消費は底堅く推移しており、緩やかに回復しています。一方で、中東情勢をはじめとする地政学リスクが景気や消費者心理に及ぼす影響については、依然として先行きが不透明な状況にあり、今後の動向を注視する必要があります。

このような経済環境のもと、当社グループは、モノづくりの原点である「仁丹」から発展した「球体技術」及び「素材研究」を事業基盤とし、社会課題に対応した製品・サービスの開発・提供、シームレスカプセル受託事業、機能性原料の販売に取り組んでおります。

この結果、当第１四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,476百万円（前年同四半期比4.0％増）、営業利益417百万円（前年同四半期比115.0％増）、経常利益436百万円（前年同四半期比108.5％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益324百万円（前年同四半期比99.1％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①　コンシューマー事業

当セグメントでは、主力製品である「ビフィーナ®」が香港を中心とするアジア地域で堅調に推移しており、その認知度や人気を背景に、国内でもインバウンド需要が売上を後押ししています。また、新製品「タンサ脂肪酸」におきましても、前期の販促活動成果を活かし、ターゲットを絞った効率的な販売戦略を着実に実行することで、ブランド伸長を目指します。

当第１四半期におきましては、前年同四半期における「タンサ脂肪酸」上市に伴う宣伝販促活動費の減少に加え、販促活動の効率化により大幅な増益となりました。しかしながら、持続的な成長と収益力の向上には依然として取り組むべき課題も多く、引き続き基盤強化と収益構造の再構築に注力してまいります。

このような状況のもと、当セグメントの業績は、売上高 1,260百万円（前年同四半期比6.8％増）、セグメント利益 128百万円（前年同四半期は、セグメント損失 31百万円）となりました。

②　ソリューション事業

当セグメントでは、シームレスカプセル受託事業において、フレーバーカプセル販売の牽引により、売上は順調に推移いたしました。今後は、当期から稼働した大阪テクノセンターの新カプセル製造ラインと滋賀工場との連動性を高め、製剤技術の向上と供給体制の強化による受託事業のさらなる拡大を図ってまいります。

一方、機能性原料販売につきましても、既存顧客からの受注変動はあったものの、大手メーカーによる新規採用等があり、売上は堅調に推移いたしました。

当第１四半期におきましては、前期に実行したエビデンス強化への先行投資（研究開発費等）による費用負担が減少したことにより、大幅な増益となりました。今後は、これまで蓄積した投資成果を最大限に活かし、さらなる受注拡大に向けた取り組みを継続するとともに、カプセル受託及び原料販売の事業を通じて市場ニーズへの即応体制を整え、さらなる収益力の向上と事業成長に邁進してまいります。

このような状況のもと、当セグメントの業績は、売上高 2,214百万円（前年同四半期比2.5％増）、セグメント利益 290百万円（前年同四半期比27.9％増）となりました。

③　その他

当セグメントの業績は、売上高 １百万円（前年同四半期比17.6％減）、セグメント損失 ２百万円（前年同四半期は、セグメント損失 １百万円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は7,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ317百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が306百万円減少したことによるものであります。固定資産は11,164百万円となり、前連結会計年度末に比べ314百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具（純額）が527百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、18,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ２百万円減少いたしました。

(負債)

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は2,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ403百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が300百万円、支払手形及び買掛金が189百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は3,478百万円となり、前連結会計年度末に比べ410百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が461百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ６百万円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は12,967百万円となり、前連結会計年度末に比べ９百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が62百万円減少し、利益剰余金が58百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.6％（前連結会計年度末は69.7％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年５月13日の「2026年３月期　決算短信」で公表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

当第１四半期連結累計期間における各段階利益の実績は、第２四半期（累計）連結業績予想を上回って推移しておりますが、今後の原材料価格の推移や海外市場の動向など、外的環境が及ぼす影響を慎重に見極める必要があることから、現時点では業績予想を据え置いております。

今後、業績動向の精査を進め、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,828	1,521
受取手形及び売掛金	2,257	2,451
商品及び製品	1,177	1,018
仕掛品	1,093	1,123
原材料及び貯蔵品	1,036	942
その他	392	410
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	7,773	7,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,647	1,714
機械装置及び運搬具（純額）	1,031	1,558
土地	2,150	2,150
その他（純額）	1,335	1,178
有形固定資産合計	6,164	6,602
無形固定資産	295	260
投資その他の資産		
投資有価証券	4,314	4,227
その他	74	74
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,389	4,301
固定資産合計	10,849	11,164
資産合計	18,623	18,620

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	814	625
短期借入金	300	―
１年内返済予定の長期借入金	55	80
未払費用	508	491
未払法人税等	155	168
賞与引当金	242	366
その他	501	441
流動負債合計	2,577	2,174
固定負債		
長期借入金	1,206	1,668
繰延税金負債	986	916
退職給付に係る負債	661	678
その他	214	216
固定負債合計	3,068	3,478
負債合計	5,646	5,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	975	975
利益剰余金	6,453	6,511
自己株式	△86	△86
株主資本合計	10,879	10,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,007	1,944
退職給付に係る調整累計額	89	85
その他の包括利益累計額合計	2,097	2,030
純資産合計	12,977	12,967
負債純資産合計	18,623	18,620

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
売上高	3,343	3,476
売上原価	1,803	1,801
売上総利益	1,539	1,674
販売費及び一般管理費	1,345	1,257
営業利益	193	417
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	26
その他	1	0
営業外収益合計	22	27
営業外費用		
支払利息	5	7
その他	1	0
営業外費用合計	7	7
経常利益	209	436
税金等調整前四半期純利益	209	436
法人税、住民税及び事業税	72	155
法人税等調整額	△26	△43
法人税等合計	46	111
四半期純利益	163	324
親会社株主に帰属する四半期純利益	163	324

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
四半期純利益	163	324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	△62
退職給付に係る調整額	△0	△4
その他の包括利益合計	△112	△67
四半期包括利益	50	257
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	50	257

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	コンシューマー事業	ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,180	2,160	3,341	1	3,343	－	3,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,180	2,160	3,341	1	3,343	－	3,343
セグメント利益又は損失（△）	△31	227	195	△1	193	－	193

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	コンシューマー事業	ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,260	2,214	3,474	1	3,476	－	3,476
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,260	2,214	3,474	1	3,476	－	3,476
セグメント利益	128	290	419	△2	417	－	417

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
減価償却費	149百万円	168百万円